

『第1部』



小雨が降る中、約250名の保護者にご参加いただき、関心の高さが伺われました。

第1部は先生方からのお話で、受験の流れ、出願状況、共通テストの変更点、学校でのサポート、模試について、受験期の親子の関わり方、奨学金などのお話をさせていただきました。

〔保護者の感想〕

◇学校が、受験に備えて、いろいろ対策をしてくださっているのがわかり、良かったです。保護者は、見守る、待つということが大切。

◇生徒、先生、保護者のいろいろな考え方、見方がわかることがわかり、大いに参考になりました。子どものためを思っている行動が逆に子どもの可能性を狭めること、見守ることの大切さを知りました。

◇自分で決め、勝負するからこそ納得いく受験が出来る、という学校の進路指導方針を聞く事ができ、よく理解できました。家庭でも同じ方向を向き、子供たちが迷う事なく受験に挑める様にしたいと思いました。

◇学校では頑張っているのだから、家庭ではほっとできる居場所と言葉をかけてあげれたらと思いました。過干渉にならず、信じて待つことと、受験生だから特別扱いすると、疎外感を感じる子もいると知り、普段通りに家族の一員として過ごすことも実践しようと思います。あとは、受験科目に関係ないから勉強せず捨てるのは、後々、人として可能性を狭めることになったり、無駄な学びはないことは伝えたいと思いました。

◇受験では「不安は0にならない」ということを聞いて家庭でも見守りつつフォローできたらなと思いました！

◇生徒さんの大半が京大か阪大か神大志望であり、私立大学が進路に入っていない方もいるのでびっくりしてしまいました。



『第2部』

第2部の前半は進路指導主事の先生から、受験を通じて得られる力や、出願指導、学校・保護者の役割についてお話がありました。

後半は5～6名程度のグループにわかれ、予備校に通っているかどうか、志望校・学部を迷っている、下宿、スマホ、部活、お手伝い、お小遣い、勉強（勉強場所、自宅や学校、自習室の使い方、アプリを使っての学習記録）などの話題について、座談会形式で保護者同士の情報交換会が行われました。

〔保護者の感想〕



◇座談会では今の時点で希望大学や希望学部
に迷っている生徒が多いことがわかり我が子
だけがまだ決めていないと焦っていた気持ち
が楽になりました。

◇少しずつ受験を意識した生活に変わりつつ
ある様でした。他のご家庭の話聞けると、
不安なのは自分だけでは無いと思える一方
で、しっかりついていかねば！と気の引き締
まる思いでした。

◇まだ部活が優先でスマホも息抜きなのか、勉強は??と思うけど、今を楽しむことも大事だし、応援しましょうと言う見守って応援してあげている保護者さんが多いと感じました

◇もう少し時間が欲しかったぐらいです

◇お子さんの様子を共有していただけてお話できてよかったです。皆さん、もどかしい気持ちもあるけどお子さんを見守っている方が多くて素晴らしいし見習おうと思いました。

